

指定管理施設評価 年間評価シート

令和4年度評価 (令和5年度実施)

1. 施設概要

Table with 4 columns: 施設名, 所在地, 指定管理者, 指定管理者所在地, 施設分類, 事業実施型, 指定期間, 主な業務内容, 利用料金制, 施設所管課, 電話. Includes details for '放課後児童クラブ(ゆりのき台小学校区)'.

2. 指標

Table with 5 columns: 施設の設置目的, 管理運営における基本理念, 評価指標 (特色ある保育への取り組み, 利用者満足度), R4年度, R3年度, R2年度.

3. 管理運営状況

Table with 6 columns: 項目, 詳細, 現指定管理者 R4年度, 現指定管理者 R3年度, 現指定管理者 R2年度. Includes financial data for '指定管理者の収支状況' and '市の使用料収入'.

Table with 4 columns: 利用者満足度調査結果, 実施時期, 回答数, 主な調査内容及び満足度. Includes survey results for '令和4年9月'.

指定管理施設評価 年間評価シート		令和4年度評価 (令和5年度実施)	
施設名	放課後児童クラブ(ゆりのき台小学校区)	施設分類	事業実施型
指定管理者	学校法人 親和学園	施設所管課	子ども・未来部子ども未来室健やか育成課

4. 各項目における評価内容

評価の観点	評価項目	項目区分	指定管理者セルフ評価	市評価
Ⅰ.基本的なサービスの提供	(1)施設運営に係る協定事項の遵守	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)利用者の安全確保	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(3)利用承認、案内等の対応と接遇	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
	(4)市、関係団体、地域等との連絡調整	サービス効果	3 標準	3 標準
	(5)施設の目的に沿ったサービスの提供	サービス効果	3 標準	3 標準
	(6)目標の達成度	サービス効果	3 標準	3 標準
Ⅱ.施設の管理	(1)建物保守管理・設備機器類の安全管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)収納・文書・備品の適正管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(3)清掃・衛生管理・警備	適正管理	3 適正	3 適正
	(4)指定管理者が行う修繕	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
	(5)コスト削減、環境配慮の取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
Ⅲ.事業の実施 【事業実施型のみ】 ※2倍得点	(1)効果的な情報提供	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
	(2)委託事業(ソフト事業)の実実施計画	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)委託事業(ソフト事業)の目標達成	サービス効果	3 標準	3 標準
	(4)自主事業への取り組み	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(5)共生社会の推進に向けた取り組み	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
Ⅳ.満足度向上への取り組み	(1)苦情等への対応	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(2)利用者獲得及び収入増加に向けた取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)利用者ニーズに応じた改善	サービス効果	3 標準	3 標準
	(4)利用者の満足度	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
(得点率=評価項目の評点の合計÷満点×100)			得点率	74%
			総合評価	A

適正管理【3段階】	サービス効果【5段階】
3 適正	5 優れている
2 課題有	4 やや優れている
1 要改善	3 標準
	2 やや劣っている
	1 劣っている

該当しない評価項目は斜線表示とする



得点率	→	総合評価
概ね80%以上 ※	→	S 優良
概ね70%以上 ※	→	A 良好
概ね60%以上 ※	→	B 標準
概ね50%以上	→	C 要努力
概ね50%未満	→	D 要改善

※評価項目に1つでも1の評価がある場合は、C以下とする

5. 総評

指定管理者による所見

- ・コロナ禍の中で、でき得る限りのことは行うことができた。
- ・指定管理を任されている分の特色を出すことがあまりできなかったため、次年度は神戸親和大学が指定管理をして良かったと思えるよう、児童および保護者に還元していきたい。

市による所見

【成果】

- ・大規模クラブ(4クラブ150名)の運営を安定して行った。
- ・利用者アンケート結果によると児童クラブの運営全般について88%の保護者が満足していると回答している。
- ・ウィズコロナの状況の下、特色ある保育(隣接幼稚園の遊戯室を借りた腹話術やコンサートの実施など)を13回実施した。

【課題】

- ・大学の交換留学生制度、ボランティア活動などがコロナの影響で実施できなかった。
- ・大学職員による研修を市直営の放課後児童クラブと合同で開催できなかった。

【今後の方向性】

- ・今後かなりの定員超過が予想される。低学年中心で定員限度まで受入れを行う中で、利用者が利用しやすく、事故のない安定した運営を引き続き行う。
- ・コロナが5類に移行し、市直営の放課後児童クラブ職員や児童との交流機会が増えると思われる。指定管理者の特色を活かした研修会の開催、学生やボランティアとの交流などの機会を増やす。